| 2025年度　上　期 |
|---|

２０２６年　５月１８日

# みやぎ生協　福祉活動助成金　助成活動報告書

| 団体名 | 一般社団法人 COCOA | |
|---|---|---|
| 代表者名 | 代表理事　上崎　優子 | |
| 連絡先<br>TEL：090-4601-5701<br>FAX： | | E-mail cocoa.iwanuma@gmail.com |

## １、助成事業報告

| 助成を受けた事業名 | フリースペース COCOA　販売活動の拡充 |
|---|---|
| 事業の目的 | 学校に行きづらさを感じている小学生から高校生が、学校や家庭以外で自分のペースで過ごせる第三の居場所としてフリースペース COCOA を運営。第三の居場所に通う事で、長期的な引きこもりにならないことを目的とする。また、当事業の活動を通して、地域社会を身近に感じることで将来を見つめ、今を生きる力を育み、進学・就職等への自立を目指す。 |
| 事業の具体的内容 | ハンドメイド等の製作・販売体験活動を通して、自分を知り、自己肯定感を高めことにより、社会性の向上や互いに認め合える関係性の構築ができるようになる事への支援を行っている。<br>主に、レジンヘアアクセサリー・ビーズストラップ・かぎ編み小物を中心に季節に合わせた色等を工夫して制作を行い、出店・納品準備等の作業も同時に行った。 |
| 活動の開始から完了までの流れ | 今回、地域資源の活用を目的とし、岩沼市長岡地区のりんご農園さんを岩沼市議に紹介していただき、たくさんの種類のりんごや枝葉、その他にも商品作成に活用して欲しいとお庭に咲いていた草花も提供してもらった。<br>当フリースペースを利用している子ども達の居住地域でもあるため、地図を利用して事前にどの地域のりんごを使用するのか事前学習も同時に行った。<br>草木染を行う際に、①枝葉だけ②枝葉と果実の組み合わせと回数を分けて行い、色の違いを楽しんだ。<br>染色後の布を使用したサシェ等の商品制作では、各工程を分担し、個人で得意な事や挑戦してみたいこと、でき |

| | |
|---|---|
| | ることを選んで製作に取り組んだ。<br>販売当日は、たくさんの方に興味をもっていただき、使いやすい商品でもあることから、多数販売することができた。 |
| 活動の成果と教訓 | 事前学習にて、草木染の原料を提供していただいたりんご農園の場所や地域のりんご農園と市の取り組みなどを子ども達も一緒に検索することで、りんご農園を買い物に行った時に見つけて家族との話題となり、普段何気なく通っていた道の景色を注意深く観察し、地域にどんなものが生産されているのか興味を持つようになった。<br>草木染では、原料の違いで微妙な色の違いが出ることを発見し、次年度へ向けて改善点などを一緒に考えることができた。<br>商品制作の過程では、学校で学ぶ機会がない生活や家庭科の授業の代わりに、裁縫セットの各種用品の名前や用途、布の繊維の方向、裁縫の基本的なことを体験することができた。個々の特性により、針を持つことが難しい子はリボンを切る作業やラベンダーを詰める作業。縫物が得意な子はサシェ本体の縫い付けを行う等、個別に得意な事を行いつながることによって一つの商品が出来上がる過程を通して、一緒に作業する時間は少ないが、商品作りを通してそれぞれの良さを確認し合う活動ができた。<br>販売当日は、商品ポップを見て岩沼市内にりんご農園があることを知らなかったり、地場産業として岩沼産りんごが活用されていることを知らなかった方が興味を持ってくれ、商品製作の過程等が話題となり、購入に繋がった。<br>今回、初めての草木染活動を導入するにあたり、実際に活動している団体の情報収集を行い、現在のCOCOAの規模で活動できる内容を検討する過程から子ども達と一緒に考えてきた。はじめは、スタッフの話を聞くだけだった子ども達も、実際に草木染や縫製等の作業を通して、材料から集めて商品を制作していく楽しさを見つけ、自宅で時間がある時に他の草木染商品を検索したり、他に草木染に使えそうなものを提案してくれたりと意欲的に活動に取り組むようになった。<br>また、普段、来所するタイミングが合わず、一緒に作業をすることが少ない仲間達の得意な事や頑張っていることを知り、スタッフを通してではあるが、互いの良さを認め合える活動を行うことができた。<br>学校ではない居場所で、家族やスタッフ以外の同世代の子ども達と間接的ではあるが触れあう活動ができたことで、次の学びの意欲につながる子どももいて、教科学習ではなく、自ら主体的に関わることができる活動が子ど |

| | |
|---|---|
| | も達の成長力の原点になるのだと感じた。 |
| 今後の展望など | 今回の活動を通して、自分たちの手で商品開発を行う楽しさを感じてもらったことを受け、サシェ以外の商品開発を進めている。<br>また、草木染体験の幅を広めるために、原料となるりんごの他に季節ごとの野菜や花なども検討中である。 |

## 2、助成金使途報告書

■　収入の部

| 確保した資金内容 | 金額（円） | 備考 |
|---|---|---|
| 福祉活動助成金 | 170,000 | |
| | | |
| | | |
| 合計 | 170,000 | |

■　支出の部

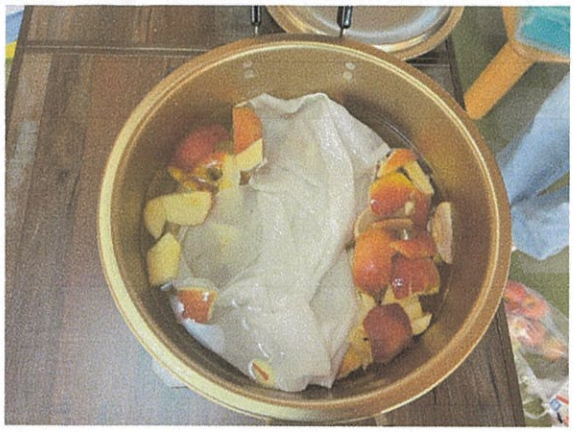
| 費目 | 内容 | 予算額（円） | 実支出額 |
|---|---|---|---|
| 印刷製本費 | ちらし／のぼり旗／ショップカード印刷用台紙等 | 20,000 | 17,036 |
| 消耗品費 | プリンターインク／各種用紙／ラッピング関係／筆記用具関係／事務用品関係　等 | 65,000 | 61,181 |
| 備品費 | テーブル／各種収納ケース／プリンター／掃除機／草木染用品／レンガブロック（テント用ウエイト代用品） | 85,000 | 82,783 |
| 返金 | | | 9,000 |
| 合計 | | 170,000 | 170,000 |

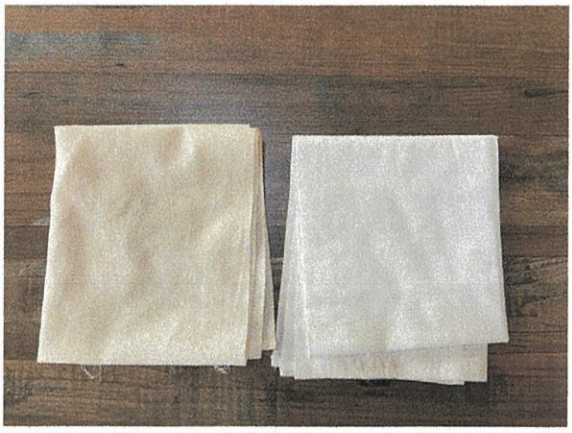
＊用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

## 3、送付必要書類

① 福祉活動助成金　助成活動報告書
　プリントアウトしたものを１部郵送、データもメールでお送りください。
② 領収書のコピー（郵送）
③ 成果物（活動の様子がわかる写真、または事業で作成したものを郵送）
　＊写真は郵送とメールで送ってください。

## 草木染





## サシェ制作
## ラベンダー袋詰め



## 販売




## 新商品制作中

